専門医試験に係るよくある質問（2025 年 3 月 17 日 作成／2025 年 4 月 15 日 追記）

目次

■注意事項 1
■専門医・更新試験共通 2
①出願前によくある質問 2
②出願後によくある質問 5
■専門医試験 6
①出願前によくある質問 6
②出願後によくある質問 8
■更新試験 8
①出願前によくある質問 8
②出願後によくある質問 8
【別添】 9

■注意事項

・事務局へ問合せる時には、告示・要領・本 FAQ を全て熟読してからメールで問合せてください。

・出願前の専攻医の質問は、一度指導医に確認を行ってください。それでも解決しない場合は、指導医から事務局へメールで確認を行ってください。特に、告示・要領・本 FAQ に記載のある質問が専攻医からきても、返信しない場合があります。

・問合せは原則メールのみです。@jspnm.org からのメールが受信できるよう設定してください。

・メールの件名冒頭に【2025 専門医試験問合せ】【2025 更新認定試験問合せ】のいずれかを記載してください。

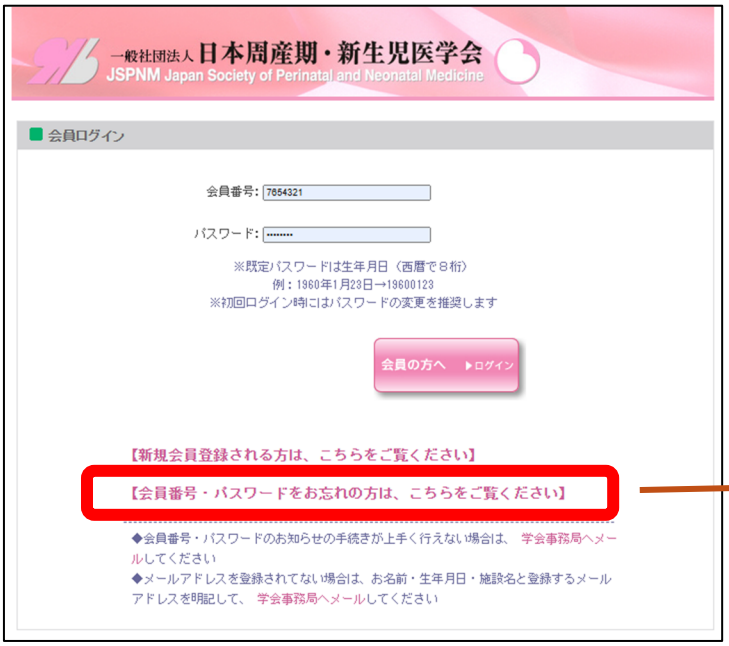
・メールの本文冒頭に【フルネーム】【会員番号】を記載してください。（指導医が専攻医の個別事例の詳細を確認する場合は【対象の専攻医のフルネーム】【対象の専攻医の会員番号】も記載してください。）

・回答は 10 営業日以内に返答します。順次対応をするため、催促されても応じません。出願期限も考慮して、必ずゆとりをもって質問してください。

※10 営業日を超えても返答がない場合は、メール未着の可能性があります。その場合は電話でメール到着の確認を行ってください。

■専門医・更新試験共通

①出願前によくある質問

	質問内容	回答
Q01	「会員ログイン」時の会員番号、パスワードがわかりません。	・パスワードの初期設定は生年月日（西暦）8 ケタです。 ・「会員ログイン」画面の表示から問合せが可能です。（Q01 図（下図）参照） ・「会員番号・パスワードをお知らせ」をしても返送メールの確認ができない場合、もしくは会員登録時に生年月日を登録していない場合は、事務局（会員担当：kaiin@jspnm.org）までお問合せください。 （本質問は専攻医から直接受け付けます）
Q01 図		
Q02	学会へ登録している情報（自宅,勤務先,送付先,メールアドレスなど）はどうやったら確認できますか。	「会員ログイン」後の「マイページ」で、以下の情報が確認できます。 ・勤務先 ・ご自宅住所 ・メールアドレス ・入会年月日 ・研修開始日 ・年会費入金情報 ・研修番号 ・専門医登録番号 ・初回専門医取得日 （【別添】p8-9 参照）

Q03	研修単位となる業績一覧に添付する抄録が手元にありません。どうすればいいですか。	本会の抄録であれば、56 巻以降はホームページの機関誌中の J-STAGE から抄録をダウンロードできます。 第 55 巻以前は電子ジャーナル（メディカルオンライン）からダウンロードできます。学会 HP→機関誌→電子ジャーナル（メディカルオンライン）からログインのうえダウンロードしてください。
Q04	学会発表の抄録は、手元にある Word でいいですか。	Word ではなく、いつ・どの学会で発行された雑誌なのかわかるようにコピーし、添付してください。
Q05	所属する地区の日本小児科学会地方会では、参加章やネームプレートがなく、日本小児科学会専門医研修の基本単位証明のみ発行されます。何を提出すればいいですか。	基本単位証明のコピーを提出してください。あるいは各要領「■参加証明記入例」を参照してください。
Q06	研修単位となる業績一覧の「学会または研究会の参加証明」に貼付する学会参加証が手元にありません。どうしたらいいですか。	詳細は各要領「■参加証明記入例」を参照してください。 ●日本産科婦人科学会会員の先生の場合： 日本産科婦人科学会会員ポータルの「学術集会参加」ページを提出してください。その場合、右上に表示される氏名が確認できるように印刷をして、単位として申請する学会等にマーカーで印をつけてください。 ●日本小児科学会会員の先生の場合： 専攻医は指導医の署名、指導医と専攻医を両方経験している場合、暫定指導医の場合、もしくは更新者の場合は上席者の署名を得てください。 ●論文及び学会発表を単位として申請する場合： 論文のコピーあるいは抄録のコピーを添付してください。
Q07	参加証や医籍に記載の苗字が旧姓／新姓ですが、単位として申請できますか。	旧姓／新姓は問いませんが、参加証を学会登録の氏名に赤字で訂正してください。 また、出願書提出時に付箋やメモ等で氏名が異なる点を事務局にお伝えください。 （メモ例） 会員番号 1615064 の豊臣茶々です。 2023 年までの参加章の『浅井』は旧姓です。 （備考）この場合、旧姓の『浅井』表記を、学会登録情報の『豊臣』に赤字で訂正する
Q08	基本学会の専門医認定証に記載の苗字が学会登録の氏名と異なりますが、そのままで申請できますか。	学会登録の氏名を赤字で併記するか、付箋等で旧姓／新姓である旨がわかるようにしてください。

Q09	現在海外にいるのですが、専門医を取得／更新できますか。	下記の条件が全て満たせるならば可能です。 事務局（専門医担当：senmoni@jspnm.org）へご相談ください。 （本質問は専攻医から直接の質問を受け付けます） ●共通項目 ・書類を全てPDF形式にできる（写真などの画像データをPDF化したデータは不可） ・専門医認定証（合格発表～1月末までに発送）を受領できる住所が国内にある（勤務先、自宅問わず） ・受験料、ないし登録料の支払いが行える ●専門医受験の場合 CBT の受験が国内でできる ●専門医更新の場合 インターネット試験を期日までに受験できる
Q10	専門医認定証の氏名表記は新姓／旧姓／旧字／異体字になりますか。	専門医認定証は原則出願書の「受験者氏名」に記載していただいた表記で作成します。特に旧姓／新姓の場合や、異体字が複数ある場合は出願書提出時にメモ等で詳細を事務局にお伝えください。 なお、届いた専門医認定証の表記に誤りがあった場合は、すみやかに事務局（専門医担当：senmoni@jspnm.org）へご連絡ください。
		（メモ例） 会員番号 1615064 の豊臣茶々です。専門医認定証は旧姓の『浅井茶々』で作成をお願いします。 （備考）この場合、学会登録情報は『豊臣』だが、出願書の氏名欄には『浅井』と記載する。
		（メモ例） 会員番号 1844218 の齋藤一です。 『齋』の字は中央に『Y』が入り、下は『示』です。
		（メモ例） 会員番号 1892039 の髙橋克己です。 『髙』ははしごだかです。
Q11	●2025 年 4 月 3 日追記 基本学会で使用した単位を、申請しても構いませんか。	**他学会**での使用は問題ございません。（当学会内での単位の重複申請は出来ません。）

Q12	●2025 年 4 月 3 日追記 他学会で原本を提出する必要があります。コピーを提出しても構いませんか。	受験要領の通り『ネームプレート』のコピーであれば、単位申請にご利用いただけます。なお『ネームプレート』は『ネームカード』とも呼称されます。 ネームプレートとは： 学術集会参加時に『学術集会名』『先生のお名前』『先生の所属施設名（あれば）』が記載されているものです。名前の記載の無い単位証明証のみの複写は、単位としてお認め出来ません。
Q13	●2025 年 4 月 15 日追記 『＊＊＊＊（学術集会名）』は地方会として単位認定されますか。	下記掲載の地方会が主催の学術集会であれば、単位としてお認めいたします。 ※主催が分からない場合は、ご自身で各地方会事務局へ『＊＊＊＊（学術集会名）が＊＊＊＊地方会主催の学術集会か』をご確認ください ●産婦人科学会　地方会 https://www.jsog.or.jp/medical/409/ ●小児科学会　地方会 https://www.jpeds.or.jp/modules/about/index.php?content_id=20

②出願後によくある質問

	質問内容	回答
Q01	出願書（申請書）の受理通知がこないのですが、どうしたらいいでしょうか。	出願書（申請書）を事務局で受理してから 10 営業日以内に受理メールをお送りします。@jspnm.org のドメインからのメールが受信できるよう設定してください。 追跡番号などで事務局に届いていることが確認できたにも関わらず、10 営業日を超えても受理メールが届かない場合は、事務局に電話でお問合せください。 ※10 営業日以内の問合せは受付けません
Q02	専門医認定証が届きません。どうしたらいいのでしょうか。	会員情報に登録されている「送付先」へ郵送します。 変更がある場合は、学会ホームページの「会員ログイン」後に表示される「マイページ」より変更し、至急事務局（専門医担当：senmoni@jspnm.org）へ連絡してください。
Q03	合格後、周産期専門医の認定カードが届きません。どうしたらいいのでしょうか。	2015 年で認定カードの送付は終了しました。 作成費用として 2,000 円をお支払いいただければ作成可能です。事務局（専門医担当：senmoni@jspnm.org）までお問合せください。

Q04	専門医認定証の送付時期に異動もしくは引っ越ししている可能性があります。どのような手続きが必要ですか。	学会ホームページから速やかに送付先情報の変更を行い、至急事務局（専門医担当：senmoni@jspnm.org）へ連絡してください。 ※合格発表時に再度ご案内いたします。必ずそちらもご一読ください。
Q05	領収書が欲しいのですが。	合格発表時に併せてご案内いたします。そちらを読んで、期日までに申し込みをしてください。
Q06	英語表記の専門医認定書が欲しいのですが。	事務局（専門医担当：senmoni@jspnm.org）へ連絡してください。

■専門医試験

①出願前によくある質問

	質問内容	回答
Q01	研修年次報告書の提出を失念していました。過去の研修年次報告書を登録できますか。	オンラインで登録できます。出願書提出前までに研修していたすべての年度の研修年次報告書の登録を完了してください。
Q02	研修休止期間中に学会に参加していました。単位は認められますか。	研修開始日以降であれば休止期間中も認められます。
Q03	研修開始日前の学会参加、発表、論文（筆頭著者）は単位になりますか。	研修開始日以前の単位はお認めできません。
Q04	施設年次報告書提出状況のコピーはどの期間必要ですか。	研修期間中、在籍した施設すべての施設年次報告書が必要です。提出されていない年度がある場合は、その施設の指導医に登録を依頼してください。 特に補完施設での研修期間中に経験した症例を出願書に使用する場合は、その年度の補完施設の施設年次報告書の登録が必須です。補完施設には指導医をおいていませんので、ご自身でご登録いただくか、補完施設の上長の先生に依頼してください。
Q05	複数の施設で研修したため、指導医が１人ではないのですが、研修した施設の指導医全員から「推薦状」に署名をしてもらうのですか。	最後に研修した施設の指導医の署名を得てください。ただし、最後に研修した施設が補完施設の場合は、その施設群の基幹施設の代表指導医の署名を得てください。 指導医は下記 URL で確認できます。 ●新生児 https://www.jspnm.com/Senmoni/ShidoiS.aspx ●母体胎児 https://www.jspnm.com/Senmoni/ShidoiB.aspx

Q06	「専攻医による指導医評価記録簿」は、研修したすべての施設の指導医について必要ですか。	最後に研修した施設の指導医の評価をしてください。ただし、最後に研修した施設が補完施設の場合は、その施設群の基幹施設の代表指導医の評価をしてください。
Q07	基幹施設での 6 か月間の研修をしていません。暫定措置期間も基幹施設での 6 か月間の研修が必要ですか。	暫定措置期間中は不要です。認定施設での3年以上の研修があれば受験できます。（補完認定施設での研修は最大6か月までしか認められません）
Q08	論文や学会発表がありません。暫定措置期間も論文や学会発表が必要ですか。	暫定措置期間中は不要です。必要単位を含めた単位が揃っていれば受験できます。
Q09	専門医取得にかかる費用を教えてください。	受験料が 30,000 円、登録料が 20,000 円、合計 50,000 円です。
Q10	病気療養、介護、産休・育休は研修日数になりますか。	研修再開届を提出後「病気療養、介護、産休・育休等研修承認申請書」の申請を行ってください。委員会からの承認が得られれば、最大1年分を研修日数としてお認めできます。 （委員会の承認がないと日数として認められません。ご注意ください）
Q11	現在も研修休止中のままですが、「病気療養、介護、産休・育休等研修承認申請書」の申請ができますか。	研修再開が 5 月 1 日を過ぎる場合のみ、事前の承認が得られるか委員会の先生に相談をいたします。まずは事務局（専門医担当：senmoni@jspnm.org）へ連絡してください。 （通常は研修再開届を提出後しか受付けません） （本質問は専攻医から直接の質問を受け付けます）
Q12	●2025 年 3 月 24 日追記 自分の研修開始日が『＊＊＊＊年＊＊月＊＊日』となっていましたが、研修認定施設には『＊＊＊＊年＊＊月＊＊日』から勤務しています。研修開始日を遡れませんか。	研修開始日は、既に研修開始申請時点で最大の遡り日と研修開始届の日付が異なる場合に事務局よりご連絡を差し上げています。遡り条件の詳細は次の PDF P.1 をご確認ください。 https://www.jspnm.jp/uploads/files/specialist/shinseiji/kensyu_kaishibi.pdf なお、上記条件を確認の上、研修日が遡れる場合のみ、現在の指導医より事務局（専門医担当：senmoni@jspnm.org）へ連絡してください。 ※特に『②研修開始日時点で当学会の会員である必要がある』を見落しての確認依頼が多いです。ご自身の入会日にご留意ください。

Q13	●2025 年 3 月 24 日追記 自分は研修を『＊＊＊＊年 5 月＊＊日』からA病院で開始しています。今年の4月にB病院に異動するため、最後の指導医は、今までの研修状況がわかりません。 ＊＊＊＊の書類の署名／指導医の評価／症例要約の確認は、誰にしてもらえばいいですか。	最後に研修した施設（B病院）の指導医の署名／確認を貰ってください。B病院が補完研修施設の場合は、施設群の代表指導医に対応していただいてください。
Q14	●2025 年 4 月 15 日追記 「9．症例要約簿」に記載する症例は、「3．研修症例記録簿」に記載する症例と重複しても構わないですか。	問題ありません。ただし、症例要約評価基準に則った適切な症例を記載してください。

②出願後によくある質問

	質問内容	回答
Q01	症例要約の結果はいつごろ発表ですか。	9 月中を予定しています。詳細は告示の「【参考】受験出願書類の提出から合格発表までのタイムライン（予定）」をご確認ください。

■更新試験

①出願前によくある質問

	質問内容	回答
Q01	専門医更新にかかる費用を教えてください。	受験料はありません。登録料の 20,000 円のみかかります。
Q02	過去5年間に長期の産休育休／海外移住／留学／進学があります。更新できますか。	旧制度においては、単位が揃っていて、インターネット試験の受験が可能なら、更新できます。

②出願後によくある質問

	質問内容	回答
Q01	合格後、「指導医資格認定証」が届きません。どうしたらいいのでしょうか。	2020 年度より「指導医資格認定証」は交付していません。 指導医は、本人からの申請を以って「委嘱」するため、「指導医委嘱状」を発行しています。 ただし、病院や医局の都合で「指導医資格」を証明する必要がある場合には、事務局 （専門医担当：senmoni@jspnm.org）までご相談ください。

【別添】

一般社団法人 日本周産期・新生児医学会
JSPNM Japan Society of Perinatal and Neonatal Medicine

こんにちは、
周産　太郎 先生

パスワード変更 | ログアウト

- マイページ
- 会員専用情報
- 会員登録の変更
- 専門医制度(オンライン登録)
- 議事録・報告
- 周産期学シンポジウム
- 学会誌（電子投稿）・刊行物
- e-Learning
- メール配信サービス

登録手順はこちら

大規模災害対策情報システム
会員専用

【事務局連絡先】
〒162-0845
東京都新宿区市谷本村町2-30
(株)メジカルビュー社内
日本周産期・新生児医学会事務局
TEL:03-5228-2074
FAX:03-5228-2104

周産　太郎　先生のマイページ

事務局からのお知らせ

2024/10/08	会員専用情報に「NICUに入院している新生児の痛みのケアガイドライン第3版」のパブリックコメント募集を掲載しました
2024/04/01	新しい専門医制度について　現時点での情報を公開しています
2023/10/20	各種、登録情報の変更や、研修に関する届出はスマートフォン・タブレットでの画面遷移に対応しておりません。 パソコンでの操作をお試しいただきますようお願いいたします。
2023/04/26	研修開始届　を登録の際は必ずご一読ください
2022/03/18	周産期専門医研修中の方へ　オンライン登録方法について
2022/03/17	退会ボタンを押しても反応しない場合、下記の「ポップアップブロック解除方法について」をご覧ください
2021/03/29	マイページのご案内　会員の方から寄せられるご質問を基に、マイページのご案内をまとめました
2020/09/25	画面が遷移しない場合、こちらをご確認ください。 ポップアップブロックの解除方法について
2017/04/18	マイページを開設いたしました

最新の状態

・会員番号
・入会年月日
・送付先

個人情報

会員番号	入会年月日	会員の種類	専門領域	生年月日
7654321	2017/04/01	会員	産婦人科	1988/08/08

送付先	勤務先
勤務先	勤務先

※退会届登録日に日付が入力されている場合、退会手続きは済んでいます
※生年月日未登録の場合は「1900/01/
ら生年月日を登録してください

登録情報の確認・変更

・自宅情報
・勤務先情報
※変更もここから可能

メールアドレス

	メールアドレス	メール配信
①		希望する
②		

メール配信サービスの確認・変更

※学会からの重要なお知らせはメール配信を希望していない会員にもお送りいたします

・メールアドレス
※2つ登録可能
・メール配信状況

※青字部分の変更はできません

会費

会費支払方法	領収書	2025年入金状況	2024年入金状況	2023年入金状況
郵便振替	不要	未入金	入金済	入金済

※入会前の年度は空欄になっています
年会費口座振替依頼書はこちら

・年会費支払方法
・領収書要否
・年会費納入状況

専門医関連

研修開始認定日	研修番号	現　況	専門医認定最終更新日	専門医登録番号	初回専門医取得日
2015/04/01	N01234	研修終了	2016/04/01	0135	

※現況が研修中（見込）の場合は、研修開始認定日から1年以内に、基本学会の専門
証のコピーを事務局までお送りください

・研修開始日
・研修番号
・研修状況
・専門医登録番号
・初回専門医取得日

中略

新生児専攻医

届出はその日を迎えてからのご登録をお願いいたします、未来日での申請はお控え

↓施設と指導医の変更はこちらから

＜申請記録＞　開始届　変更届　休止・中止届　再開届

申請日	申請書類	施設名	研修開始日	研修終了日
2010/08/12	開始届	NTT東日本札幌病院	2010/04/01	

＜研修年次報告書提出記録＞　追加登録　※研修年次報告書ご登録の注意事項

施設または指導医が変更になった場合は変更届の登録を先におこなってください

研修番号	年度	研修期間	施設名
	2013	2013/04/01～2014/03/31	函館中央病院
	2012	2012/04/01～2013/03/31	NTT東日本札幌病院
	2011	2011/04/01～2012/03/31	NTT東日本札幌病院
	2010	2010/04/01～2011/03/31	NTT東日本札幌病院

研修期間判定ツール

旧制度の研修開始の受付は終了いたしました

最新の状態に更新する

母体・胎児専攻医

届出はその日を迎えてからのご登録をお願いいたします、未来日での申請はお控えください

↓施設と指導医の変更はこちらから

＜申請記録＞　開始届　変更届　休止・中止届　再開届

申請日	申請書類	施設名	研修開始日	研修終了日
2009/05/29	休止・中止届	JA北海道厚生連　旭川厚生病院		2010/02/03
2009/05/29	変更届	JA北海道厚生連　旭川厚生病院	2010/02/02	
2009/05/29	変更届	JA北海道厚生連　旭川厚生病院		2010/01/01
2009/05/29	変更届	JA北海道厚生連　旭川厚生病院	2010/02/02	
2009/05/29	変更届	JA北海道厚生連　旭川厚生病院		2010/02/02
2009/05/29	変更届	JA北海道厚生連　旭川厚生病院	2010/02/01	
2009/05/29	変更届	JA北海道厚生連　旭川厚生病院		2010/01/01
2009/05/29	開始届	JA北海道厚生連　旭川厚生病院	2000/01/01	

＜研修年次報告書提出記録＞　追加登録　※研修年次報告書ご登録の注意事項

施設または指導医が変更になった場合は変更届の登録を先におこなってください

研修番号	年度	研修期間	施設名
	2013	2013/04/01～2014/03/31	JA北海道厚生連　旭川厚生病院

研修期間判定ツール